

# 全社協

## Action Report

第297号

2025（令和7）年9月16日  
社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
Japan National Council of Social Welfare  
（全社協 ぜんしゃきょう）

総務部広報室 [z-koho@shakyo.or.jp](mailto:z-koho@shakyo.or.jp)

TEL03-3581-7820 FAX03-3581-7854

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル



### 〈事業ピックアップ〉

- 第3回政策委員会幹事会を開催
- 災害福祉支援の視点から、連携強化の重要性を提起  
～ 防災推進国民大会 2025 in 新潟でセッションを主催
- 令和7年8月、9月の大雨・台風被害への対応状況

### 〈インフォメーション〉

- クリエイティブな未来を拓く  
～ H.C.R.2025 第52回国際福祉機器展&フォーラム

全社協の月刊誌（月刊福祉、保育の友）

# 事業ピックアップ

## ● 第3回政策委員会幹事会を開催

全社協 政策委員会(委員長:平田 直之 全国社会福祉法人経営者協議会 相談役)は8月28日に、第3回幹事会を開催しました。

### 社会保障、福祉政策の動向と課題

給与改定に関する人事院勧告、中央最低賃金審議会で行われた最低賃金額改定の目安に関する答申、令和8年度概算要求基準の概要について報告を行いました。その後、社会保障審議会福祉部会において行われた「地域共生社会の在り方検討会議 中間とりまとめ」および「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方に関するとりまとめ」に関する審議の状況について、福祉部会に参画する構成組織や関係団体における対応が報告され、意見交換が行われました。



平田委員長による発言

委員からは、「身寄りのない高齢者等への支援に向けた新たな事業に関して、地元の間でも関心が高い。都道府県社協や市町村社協に都道府県や市町村行政がどう関わるのか、財源も含め大きな課題」、「サービス提供体制等のあり方について、『地域の中で保育機能をどう維持していくか』を議論するフェーズに変わってきており組織としても検討していきたい」といった意見がありました。

### 当面する課題への対応

昨今の福祉分野を取り巻く動向や課題に対する各構成組織における対応状況を共有するとともに、検討課題の整理や政策委員会として分野横断的に対応を図っていくべき事項について、テーマ別検討会設置含め、意見交換を行いました。

### 令和8年度制度・予算・税制等要望の実現に向けた今後の取組み

秋以降に政策委員会として重点的に要望していく事項について、各構成組織における制度・予算要望活動の状況を共有し、協議を行いました。

次回は10月15日に開催する予定です。

【政策企画部 TEL.03-3581-7889】

## ● 災害福祉支援の視点から、連携強化の重要性を提起

### ～ 防災推進国民大会 2025 in 新潟でセッションを主催

9月6日、7日、新潟県新潟市で防災推進国民大会(主催:内閣府等/通称:ぼうさいこくたい)が開催され、全社協ではセッションを主催するとともにブース展示を行いました。ぼうさいこくたいは、産学官民の関係者が日頃の防災活動を発表・交流する日本最大級の防災イベントで、本年度は第10回の開催となりました。

ブース展示では、社協や社会福祉施設による災害福祉支援について、災害ボランティアセンターや災害派遣福祉チーム(以下、DWAT)の活動事例等を紹介し、2日間で約190名のブース来訪者と交流し、両事業の理解促進を図りました。

7日には、災害福祉支援ネットワーク中央センター(厚生労働省 委託事業/全社協 受託)の主催で「災害福祉支援～令和6年能登半島地震の取り組みと課題、今後の展望～」と題してセッションを実施しました。

令和6年能登半島地震では、初めて全都道府県のDWATが活動し、社会福祉施設への応援派遣も過去最長・最多規模となりました。セッションには、能登半島地震の支援に携わった



セッションの様子  
[動画\(YouTube\)](#)

渡邊 麻由 氏(長泉町社協/静岡県)、高杉 威一郎 氏(社会福祉法人峰栄会/静岡県)、中田 淳 氏(石川県厚生政策課)が登壇しました。田村 圭子 教授(新潟大学)のコーディネートののもと、今後の DWAT のあり方や災害福祉支援について討議を行い、災害時の、社協、福祉施設の平時からの活動や連携の重要性について理解を深めました。

渡邊氏は、社協が平時から地域で活動を展開している意義を踏まえ、社協が運営する災害ボランティアセンターと DWAT が連携し、それぞれのもつ力を効果的に活用することで被災地の住民のエンパワメントを高めることの重要性を訴えました。

また、高杉氏は DWAT 活動中に出会った被災者の事例を紹介し、人びとの生活の困りごとと向き合う福祉職の専門性を被災地で発揮するためには、DWAT や関係者同士の連携・情報共有が重要と強調しました。

さらに、中田氏は被災県の県庁職員として DWAT 等の調整を行った経験を振り返り、災害発生時の規模や被災程度に応じて対応できるよう、平時から研修を通じて DWAT のチームとしての成熟度を高めるとともに、支援団体等との役割分担や連携を強化する必要があると説明しました。

なお、セッションには愛子内親王殿下もご臨席になり「災害支援は、応援に行く人たちだけでなく、福祉現場を守り、支えている職員の方がたの努力で成り立っているのだですね」と福祉職の皆様を労っていらっしゃいました。

## ● 令和 7 年 8 月、9 月の大雨・台風被害への対応状況

今夏も全国各地で大雨や台風による被害が発生し、被災地の市町村社協・県社協では災害ボランティアセンター(以下、災害 VC)の設置・運営が行われています。全社協では、各県社協と連携し、情報共有や必要な支援につなげる取り組みを行うとともに、職員を派遣して運営支援を実施しています。さらに、熊本県では災害派遣福祉チーム(DWAT)活動の支援を実施しました。

### ○8 月 6 日以降の大雨への対応(熊本県等)

前号(第 296 号/9 月 1 日発行)で報告のとおり、5 県(13 市 5 町)で災害救助法が適用され、熊本県内 10 市町に災害 VC が設置されました。ニーズが落ち着いた地域では 9 月中旬にかけて閉所や通常体制への移行が進められていますが、八代市では依然としてニーズが多く、当面活動を継続する見通しです。全社協派遣職員は閉所準備支援や災害救助事務費の求償事務の支援等を行っています。また、9 月 1 日、2 日には上天草市で災害派遣福祉チームが活動し、本会職員も同行しました。

### ○8 月 19 日、9 月 2 日からの秋田県での大雨被害(秋田県)

8 月 19 日からの大雨で仙北市に災害救助法が適用され、災害 VC が設置されました。さらに 9 月 2 日以降の大雨により 2 町 1 村が新たに適用を受けました。本会は秋田県災害福祉支援センターと連携し、状況把握等を行っています。

### ○台風 12 号(8 月 20 日)の被害(鹿児島県)

鹿児島市や南さつま市で浸水被害が発生し、南さつま市社協は災害 VC を設置しました。本会は鹿児島県社協の支援のため職員を派遣し、霧島市、始良市とあわせて 3 市の災害 VC 運営支援を実施しています。

### ○台風 15 号(9 月 5 日)の被害(静岡県)

静岡県内 9 市 1 町で災害救助法が適用されました。牧之原市(9 月 6 日)、吉田町(9 月 8 日)に災害 VC が設置され、他市町では通常のボランティアセンターにより対応しています。本会は静岡県災害福祉支援センターと連携し、情報収集と状況把握を進めています。

【総務部 全国災害福祉支援センター準備室 TEL.03-3581-4657】

# インフォメーション

## ● クリエイティブな未来を拓く

### ～ H.C.R.2025 第 52 回国際福祉機器展&フォーラム

本会と(一財)保健福祉広報協会が主催する「H.C.R.2025 第 21 回国際福祉機器展&フォーラム」(以下、H.C.R.2025)は、10月8日(水曜)から10日(金曜)までの3日間、東京ビッグサイト西・南展示ホールで開催します。

#### Web展「H.C.R.Web2025」

2025年9月1日から11月7日(金曜)

#### Web展が9月1日からスタート。リアル展の入場登録を受付中

リアル展に先立ち、9月1日からはWeb展「H.C.R.Web2025」がスタート。リアル展への入場登録のほか、1,000点を超える最新の福祉機器情報が検索できます。さらに、

出展企業のブース位置を会場マップ上で確認したり、気になる機器をお気に入り登録できるなど、リアル展をより快適に過ごせる便利な機能が充実しています。リアル展に来場できない方には、会場の様子を連日ライブ配信でお届けする映像コンテンツも用意しています。



H.C.R.Web2025 特設サイト



[Web展への  
入場登録/ログインはこちらから](#)

#### リアル展「H.C.R.2025 第 52 回国際福祉機器展&フォーラム」

2025年10月8日(水曜)から10日(金曜)／10時から17時(最終日のみ16時まで)

#### リアル展には11か国1地域から414社が出展。福祉機器もより多様に進化

国内外414社が出展するリアル展には、最新の福祉機器が一堂に会します。とくに移動支援のモビリティが多様化し、機能が進化しているのが特徴のひとつです。また、最新のAI機能を採り入れた機器が数多く展示されます。

さらには、大阪万博で話題を呼んだ「O-MU-TSU WORLD EXPO2025」で公開されたクール&モダン、かつオリジナルデザインのおむつ展示や国内の主要おむつメーカーが一堂に会した特別展示も注目です。

## “学び”と“発見”に繋がる多彩なフォーラム(一部を抜粋してご紹介)

### ■2040年を見据えて介護保険の持続可能性を考える国際シンポジウム(10月9日/木曜)

介護保険を導入している日本とドイツ。高齢化が進行し人材確保、財源確保など共通の課題を抱えるなかで、ドイツからも講師を迎え、制度の持続可能性や2040年問題への対応策を考えます。

【参加費:1,000円】

### ■専門職向け福祉機器の利活用スキルアップ講座

昨年延べ1,200名が参加した専門職向けセミナー。介護支援専門員や介護職、OT、PT、看護師など専門職の実践に役立つ福祉機器の利活用法を実演します。

【参加費:2,500円(専用テキスト付)】

### ■防災福祉の最前線を知るセミナー(10月10日/金曜)

大災害への備えや発災時の動き、避難所運営のあり方等について、イタリア式の被災者支援の解説も交えながら、福祉的側面を中心に紹介します。

### ■ふくしの魅力発見ゾーン

高校生や専門学校生、大学生などの若年層向けに、福祉現場や業界で働く人の魅力を伝える企画。福祉現場で働く若者の姿をエピソードタワーと映像で紹介。さらに、タワーに登場する職員から“ナマ”の声を直接聞けるテーブルトークなど、クリエイティブなふくしの仕事の魅力を体感いただきます。

### ■【新企画】福祉機器ランウェイショー

#### 「彩-Color your life-」

“人生を彩る福祉機器”をコンセプトに、最新のモビリティ(車いす等)とともにオリジナル衣装を身にまとったモデル10名によるランウェイを行い、会場を華やかに盛り上げます。



ランウェイショー イメージ図

### ■子ども広場

「福祉機器×遊び」をコンセプトに、障害がある子ども向けに、楽しく自由に遊べる遊具を体験できます。出張プラネタリウムや学習支援のためのICTの展示も充実。



昨年度の同企画

### ■エンジョイアクティブゾーン

障害者サッカー(電動車椅子サッカー、ブラインドサッカー、デフサッカー、アンプティサッカー)、モルック、バリアフリーe-Sportsの体験会を実施します。

■【新企画】社会福祉学生ヒーローズ in H.C.R.2025 【法人振興部 TEL.03-3581-7819】

これまでの「社会福祉学生ヒーローズ賞」受賞団体と、実践動画を公開した学生団体がH.C.R.2025 に登場！

高校や大学、専門学校やサークルで福祉の魅力を伝える創意工夫あふれる学生による活動を表彰する「社会福祉学生ヒーローズ賞」は、これまで「社会福祉 HERO'S」イベント当日に合わせて授賞式を行ってきました。この賞をより多くの学生・生徒に知ってもらえるよう、学生たちも多く見学する国際福祉機器展と提携して、学生・生徒3団体それぞれによる実践プレゼンを新たに企画しました。

発表や交流などを通して、学生たち自身が社会課題に真剣に取り組むことの楽しさを伝える企画となっています。

【登壇校】

長野県上田千曲高等学校(ヒーローズ賞 2023 受賞団体)  
大分県楊志館高等学校(ヒーローズ賞 2024 受賞団体)  
京都府龍谷大学([YouTube「HERO'S ちゃんねる」で動画公開中](#))

【日時】2025年10月9日(木曜)13時から14時

【会場】東京ビッグサイト 西展示ホール1階 特設ステージ

「社会福祉学生ヒーローズ賞」エントリー受付中！(10月31日まで)

福祉現場で働く若手によるスピーチイベント「社会福祉 HERO'S 2025」のなかで「社会福祉学生ヒーローズ賞」授与式を執り行います。

審査基準	●学生ならではの視点のあるアクションであること ●地域や学内での活動の広がりが感じられること
エントリー方法	Web申請(募集締切)2025年10月31日(金曜) <a href="#">社会福祉学生ヒーローズ賞募集スタート！</a>
授与式	2026年1月28日(水曜) 渋谷ストリームホール(東京都渋谷区渋谷3-21-3)

[社会福祉 HERO'S 2025 プレゼンターも募集中！\(10月3日まで\)](#)

H.C.R.2025—開催概要—

○リアル展「H.C.R.2025 第52回国際福祉機器展&フォーラム」  
2025年10月8日(水曜)～10日(金曜)  
10:00～17:00(最終日のみ16:00まで)  
「東京ビッグサイト」西・南展示ホール

○Web展「H.C.R.Web2025」  
2025年9月1日(月曜)～11月7日(金曜)



詳細については、[出版部ホームページ](#)をご覧ください。

## 全社協の出版情報

出版部で発行した書籍や月刊誌最新号の特集をご案内します。

### <月刊誌>

#### ●『月刊福祉』10月号

##### 特集：「ごちゃまぜ」の実践が生み出すもの

高齢・障害・児童等の既存の制度における縦割りを排した実践は、富山型デイサービスで注目を集め、「ごちゃまぜ」の実践として全国に広がっています。この実践は、地域が抱える課題、支援を必要とする人のニーズに応えようと模索するなかで生まれたものですが、共生型サービスや、地域共生社会づくりなどにもつながっています。

本特集では、現在行われている取り組みや、背景にある思いを明らかにし、その意義とさらなる可能性を伝えます。

(9月8日発売 定価 1,170円—税込—)



↑ 画像をクリックすると  
試し読みできます。

#### ●『保育の友』10月号

##### 特集：主体的に学ぶ園内研修

子ども虐待は、精神的ストレス、貧困や孤立した子育てなど、さまざまな要因から生じており、社会全体で向き合うべき深刻な問題です。

本特集では、子ども虐待の動向を学ぶとともに、保育所等での事例から、子ども虐待の予防や防止に向けた保育所等の役割や支援について考えます。

(9月8日発売 定価 740円—税込—)



↑ 画像をクリックすると  
試し読みできます。

### <レポート送付先>

本レポートは、報道関係者、都道府県・指定都市社協、種別協議会等協議員、政策委員会委員、本会理事・評議員の方がたにお送りしています。